

令和3年度 第1回南丹市社会教育委員会 会議録

日 時:令和3年7月14日(水)午後2時から午後3時30分まで

場 所:南丹市園部文化会館「アスエルそのべ」3階大研修室

出席者:(順不同、敬称略)

社会教育委員:小南 仁、清水範子、粟田千八栄、大嶋久美子、片山智文、北村友子、古北真里、
伊藤雅史、中川美登利

(欠席委員:麻田健治、岡島賢峰、片山幹夫)

事 務 局:木村教育長、浅田社会教育課長、辻課長補佐、八木課長補佐、西村生涯教育係長、
井尻文化財保護係長、仲田社会体育係長、今西主事

傍聴人:0人

1 開会

2 新規就任委員の紹介

3 あいさつ 小南代表、木村教育長

4 協議事項

(1) 令和2年度社会教育事業報告について

事業報告により昨年度の活動について説明。

○委員からの主な意見等

(委 員)社会教育に関わる取り組み事業があればあるほどまちの良さが分かってもらえると思うが、コロナ禍の影響で事業を実施しようとしても予算がないといったことに陥ったりしないのか、という懸念がある。

(事務局)コロナ禍の影響で税収が減ることは考えられるが、計画した事業を実施するために必要な金額を算出し、財政担当と協議して市全体の予算と調整しながら確保した予算の中で計画的に事業を実施している。

(委 員)現在旧摩気小学校で実施している放課後児童クラブの今後は。

(事務局)園部小学校の子ども達が利用しているたんぼぼ放課後児童クラブを、現在園部小学校の敷地内に建設中である。年度内完成で令和4年4月からの開設予定。

(委 員)近隣の民間保育所の状況は。

(事務局)南丹市が施設を建設し民間の福祉法人が運営という形で、今年の4月から「南丹のぞみ園」が充足した。南丹市の福祉部署とも連携している。

(委 員)高等学校でも様々な行事がリモートになり、体育祭や文化祭も縮小開催であったが、一例として演劇を体育館ではなくグラウンドで行ったら四方から見えて良かったという声がある。継続事業やコロナ禍により工夫をして実施できた事業方法の見直しをすれば、同じ予算の中でも可能性が広がるのでは。

(事務局)コロナ禍をきっかけに事業の見直しをしている。特に成人式は大きく変更し二部制で実施した。

密になる記念撮影を中止し、友人と久しぶりに再会した時や恩師と談笑している時、式典の時等の自然な表情のスナップ写真をアルバムにし記念品としたところ、なかなか好評であったと聞いている。現在、来年の成人式はどのように実施するか検討中であるが、新成人の声を直接聞いて協議をすすめていこうと考えている。

(委員)地域学校協働活動で地域の方と繋がる活動を日々取り組んでいるが、先日子ども達が育てたお花を地域の方にプレゼントしようということで50の方が来校し、学校のベンチでお話をされていた。今後、学校がコミュニティの場所になっていき、お金をかけずとも地域の方の力を借りながら、また地域も元気になってもらうようなことが社会教育の様々な事業と関連させながらできたら良いと改めて感じた。社会教育が充実したら学校教育も充実するのだと感じた。

(2)その他

1. 資料館・博物館からのお知らせ
2. 社会教育委員の研修会について

5. 閉会 清水副代表

*園部文化会館の施設見学